

**【がん種】** [慢性リンパ性白血病](#)  
**【レジメン名】** R-Venetoclax③Venetoclax単独維持投与期  
**【登録番号】** 011807  
**【1コースの期間】** R-Venetoclax②R併用維持投与期開始日から2年間  
**【投与間隔調整規定】** なし  
**【総コース数】** R-Venetoclax②R併用維持投与期開始日から2年間(R-Venetoclax②維持投与期 終了後から)  
**【催吐性リスク】** 最小度～軽度:ベネクレクタ  
**【抗がん剤の組織障害性】** -  
**【投与量に制限のある薬剤】** なし  
**【主な有害事象】** 白血球減少、好中球数減少、貧血、血小板数減少、疲労、間質性肺炎、悪心、嘔吐、食欲不振、口腔粘膜炎、下痢、腫瘍崩壊症候群  
  
**【必要な検査】** 一般採血、カリウム、カルシウム、リン、尿酸、クレアチニン  
**【根拠論文】** N Engl J Med 2018 22:378:1107-1120.  
  
**【点滴の時間】** -  
**【その他】** 対象:慢性リンパ性白血病(CLL)、小リンパ球性リンパ腫(SLL)

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日 連日
1	ベネクレクタ錠	400 mg	内服	1日1回朝食後	○ ○

【R-Venetoclax③Venetoclax単独維持投与期減量・休薬・中止基準】

ベネクレクスタ 添付文書 2021年3月改訂(第5版)

減量	ベネクレクスタ
標準	400mg/日
1段階	300mg/日
2段階	200mg/日
3段階	中止

有害事象	Grade	用量調整
好中球数減少	3以上	休薬し、Grade1以下に改善後、同量で再開する。
	再び3以上	休薬し、Grade1以下に改善後、1段階減少して再開する。
血小板数減少 8日以上継続	3以上	休薬し、Grade1以下に改善後、同量で再開する。
血小板数減少が再度出現	再び3以上	休薬し、Grade1以下に改善後、1段階減少して再開する。
好中球数減少、血小板数減少、リンパ球数減少以外の血液毒性	3以上	休薬し、Grade1以下に改善後、同量で再開する。
	再び3以上	休薬し、Grade1以下に改善後、1段階減少して再開する。
腫瘍崩壊症候群	-	腫瘍崩壊症候群が消失するまで休薬し、消失後は休薬前と同量 or 1段階減量して再開する。 2週間以上の休薬を要した場合、1段階減量して再開する。
非血液毒性(腫瘍崩壊症候群を除く)	3以上	休薬し、Grade1以下に改善後、同量で再開する。
	再び3以上	休薬し、Grade1以下に改善後、1段階減少して再開する。